



2026年3月24日

各位

会社名 株式会社ADR120S
代表者名 代表取締役社長 橋本 征道
(コード: 3750 東証スタンダード)
問合せ先 経営企画部長 草間 竜太郎
(TEL. 03-6261-9067)

2026年3月期の通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期(2025年4月1日~2026年3月31日)の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想の修正(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,060	百万円 △123	百万円 △138	百万円 71	円 銭 8.04
今回修正予想(B)	50	△910	△920	△300	△33.60
増減額(B-A)	△1,010	△787	△782	△371	—
増減率(%)	△95.2%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	122	△806	△864	△2,140	△354.86

2. 修正の理由

当社の子会社であるADRセラピューテスク株式会社は、主力商品である医療機器「セルレーション遠心分離器」および高度管理医療機器(クラスⅢ)である「セルセラピーキット」について、安定的な調達、品質向上およびコスト低減を目的として、海外輸入から国産品への移行を進めております。

当該国産化開発については、製造委託先と連携し進めており、セルセラピーキットについては既に2026年2月より販売を開始しております。

一方、セルレーション遠心分離器については、製品開発は既に完了しているものの、量産体制への移行に伴う最終調整に加え、世界的な半導体供給制約への対応および品質確保を最優先とした結果、販売時期の見直しを行うことといたしました。

これにより、当初当期中に予定していた製造委託先からの引渡しは2026年8月を予定し

ており、売上計上時期が来期へ移行する見込みとなりました。

この結果、当期における売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

本件による売上減少は、需要の減少や事業停滞によるものではなく、売上計上タイミングの変更によるものであります。

以上を踏まえ、2026年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。

なお、当社は2025年9月30日付で公表いたしました高濃度エクソソーム成分含有液に関する事業（CrymEX事業）について、これまで開発および事業基盤の整備を進めてまいりましたが、このたび本格的な事業展開を開始する段階に入りました。

当期においては当該事業の立ち上げに伴う開発費用を計上しておりますが、今後は追加的な開発投資を伴わず、製品供給および医療連携を通じた売上創出フェーズへ移行する見込みです。

国内生産体制の構築に係る開発が既に完了していることに加え、CrymEX事業の新しいフェーズへの移行により、年間の開発費を含めたコスト負担は大きく低減され、収益性の改善に寄与するものと見込んでおります。

これらを含めた今後の成長戦略および収益計画については、2026年5月に公表予定の中期経営計画にて正式に開示いたします。

以上